

Vol. 25

SUMMER
2017

ディスプレイスクール情報誌

JDCA PRESS

※特集※

特別講師に聴く
チャタリングでポジティブな生き方!

JDCA5月～7月開催
ディスプレイ講座

ディスプレイのヒト、モノ、コトをつなぐ

JDCA



Infiorata di Pontefrancia 2015 (Spain)
スペイン・ポンテフレンシア市に招かれ制作した花歌
舞伎。情熱大陸が密着取材。



Infiorata di Roma 2014 (Italy)
第5回エフェメラルアート世界大会にてバチカン前
に制作した花歌舞伎。



Infiorata di Genzano 2016 (Italy)
日伊国交 150 周年の親善大使として招かれ、
現地アーティストと作品を制作。

協会主催
セミナー

今話題のインフィオラータ 街をキャンバスにアートするシカケ

講師

藤川 靖彦

花絵師／エフェメラル・アーティスト

株式会社インフィオラータ・アソシエイツ
代表取締役社長

一般社団法人花絵文化協会 代表理事
エンジン01文化戦略会議会員
エフェメラル・アート国際連盟理事

大地をキャンバスに花びらで描く花絵「インフィオラータ」の日本の第一人者で、現在まで 15 年間に国内外 250 か所以上で作品を制作・プロデュース、年間 100 万人以上の集客をはかるアートイベントへと育て上げた。近年は海外で歌舞伎絵を花で再現する「花歌舞伎」の創作活動を積極的に行っており、世界各地から制作の依頼が殺到している。スペインでの制作を、テレビ番組「情熱大陸」が密着取材を行い大反響を呼んだ。ローマ法王やベトナム共産党書記長等、世界の VIP に捧げる作品も制作する。



路

面等をキャンバスに見立て、花びらや草木、種といった自然素材を題材にして描く、大きな花絵「インフィオラータ」。近年、国内のイベント等でも演出されることが増えてきた、話題のアートです。今回は、2020年の東京オリンピックに向けて、これまでにない新しい東京の観光文化づくりとして取り組んでいる新プロジェクト「東京インフィオラータウィーク」の事例をもとに、街をアートする「インフィオラータ」のプロセスとシカケをひも解きます。2020年開催の東京オリンピックの訪日観光客は、1000万人を超えると言われてしています。東京をキャンバスに、10万人の「東京人」がアートする壮大なプロジェクトのストーリーや展開プランを知る、貴重な機会です。その仕掛けを感じてみませんか。



Sapporo Flower Carpet 2016 (札幌)
2014年に道庁前にできた赤レンガ
ラザを記念して2014年から開催。
©ハレバレシヤン

2017年7月15日〈土〉
15:00～17:30

定員：70名

受講料：◎JDCA協会会員価格
(セミナー&懇親会) ¥5,000

◎一般価格
(セミナーのみ) ¥5,000

場 所：横浜ディスプレイミュージアム
2F カルチャールーム

タイムスケジュール

15:00～16:00 セミナー (2Fカルチャールーム)

16:00～17:30 インフィオラータ体験
ワークショップ (1F ステージ)

18:00～20:00 懇親会
(1F エントランススペース)

インフィオラータ体験ワークショップ

オリエンテーションの後、1Fの売場スペースにて床面を
キャンバスに見立てた花絵＝インフィオラータを共同作
業で仕上げていただきます。

NAVIGATOR

大高 啓二

日本ディスプレイクリエイター協会理事
JDCA 講師

【今回のセミナーの見所】

花絵師として国内外のイベントで活躍し、日本の第一人者である藤川靖彦さんから直接お話を伺う、またとないチャンスです。今回のセミナーでは、プロジェクトの背景やプロセスの解説に加え、特別に「インフィオラータ」体験もご用意。多くの人の手で花びらをアートとして表現する「インフィオラータ」の素晴らしい一面を一緒に体感しましょう。



SOCIAL GATHERING



セミナー終了後に、会場を横浜ディスプレイミュージアム1Fエントランススペースに移動して懇親会を行います。
DC協会理事・JDCA講師に加え、さまざまな分野で活躍されているゲストもお招きする予定です。同業種だけではなく、異業種間での情報交換など、新しい活動に繋がる場として懇親会を深めてください。是非お気軽にご参加ください。

2017年7月15日〈土〉 18:00～20:00

定員：先着 70 名

※定員になり次第締切とさせていただきます。※懇親会は、JDCA協会会員のみご参加いただけます。



JDCA

ディスプレイスクール情報誌「JDCA PRESS」 2017年5月発行 発行/Japan Display Creator Academy

JDCAの特別講師として活躍する、天野よしこさんと原田朋乎さんに、クリエイターとして生涯現役で輝き続ける秘訣をうかがいました。仕事に対する誇りと心構えについて、さらにライフスタイルにまで話題は広がり、話は尽きません。おふたりのポジティブな生き方は、人間としての魅力にあふれていました。



特別講師に聴く

チャーミングで ポジティブな生き方！

好きだから、続けられるんです。
自分の直感を大切にしています。

マイブックに書き留めるのは、絵ではなく、もつぱら言葉で。「言葉の意味を正しく理解しないと、伝えたいことをきちんと伝えられないでしょ。花を纏う、というキーワードから、デザインを考えていくこともあり、言葉をとっても大切にしています」

私たちは、花は活けるものであり、その中心にくるものと考えがち。けれど、天野さんは花も器も、素材として同等に捉えます。「花も素材と捉えることで、組み合わせの妙が生まれます。その結果、デザインが非常に多様性に富んでくるんです」

プライベートでもファッショナブルな天野さん。好きな色は、ベージュ。どんな色とも調和し、自己主張しない色。「だからこそ、ワンポイント、挿し色となるアクセサリーが効いてくるんです。お花と一緒にですよ」



▲チューテ型スタンドのベースに、ドームスタイルでグリーンカラーを統一したアレンジメント。クラシックモダンを表現しました。

ウインドウディスプレイのカリスマ的存在として知られる、原田朋乎さん。フランスからピンワークという手法を日本にもたらした笹原紀代さんに師事し、フリーのデコレーターとしてデパートや展示会場などのディスプレイを多数手がけてきています。

「私がフリーとして始めたのは、ちょうどバブルの前半。ウインドウディスプレイの仕事もどんどん増えてきた時代でした。デパートの地下の食料品から最上階の催事場まで、すべての商品を扱ってきました。それぞれの商品の魅力的に見せて、最終的には購入してもらおうのが、私の仕事です」

名刺をもたずに、横のつながりだけで仕事をずっとできたことが、誇りと話します。ですが、この業界は結果がすべて。反響がよくなければ、その後の仕事はありません。「バブルが弾けてからは、予算も減ってきました。少ない予算で、いかに商品を魅力的に見せるか、私たちの腕の見せ所です」

デコレーターとして様々な経験を積み重ねた原田さんは、「キャリアは大事な財産ですが、それだけでできる仕事ではないですね。その人の感性が大切になってきます」と長く続けられた秘訣を語ってくれました。

感性を磨き続けるために、原田さんが行っているのは、写真撮影。気になったものは、とにかく写真に収めます。毎年クリスマスシーズンには、ニュー



感性は売っていないの。
自分で意識して磨くしかないのよ。

アーティフィシャルフラワーデザイナーの第一人者として、第一線を走り続けている、天野よしこさん。花との始まりは、意外にも生花から。フラワーデザインの講師資格を有したのち、ドイツのフラワーデザインを学ぶために短期研修を重ねたそう。名著『ドイツ装花 トロッケンゲビンデ』を手掛けるなど、海外の花を日本に最初に紹介した立役者のひとりでもあります。そして、大きな転機となったのが、アーティフィシャルフラワーとの出会いでした。当時、造花と呼ばれていた花を、アーティフィシャルフラワーという言葉に変換し、発信



Yoshiko Amano

天野 よしこ

フラワーコーディネーター
JDCA 特別講師
(フラワー商空間演出・
インスタディスプレイ担当)

フラワーデザイン講師資格取得後、ヨーロッパ各地でフラワーデザインを学び、現在はアーティフィシャルフラワーデザイナーの第一人者として業界内でカリスマ的な人気を誇る。アーティフィシャルフラワーコーディネイトを中心としたデザイン指導に注力し、また、「フラワーデザイン・デモンストレーション講習会」講師としても活躍中。

ヨークに出かけて、最先端のデコレーションを見て写真に撮ってきます。

現地に出向かなくてもいろいろな情報が得られる時代ですが、質感や空気感など、そこできちんと得られないものはいっぱい。現場に行ってみてくれることは、感性を磨くために、とても大事な要素のようです。

デコレーターとして活躍する傍らで、帽子作家という顔ももつ、原田さん。身につける洋服はもちろん、アクセサリー類



▲特別講座「ピンワークレッスン」の作品。平面的になりがちな空間をサテン布を使って立体的に表現します。



Tomoko Harada

原田 朋乎

ディスプレイデコレーター
JDCA 特別講師
(ピンワーク・
インスタディスプレイ担当)

VMDの専門家として、百貨店でのディスプレイを長年にわたり手掛ける。また、売り場づくりやディスプレイに関する人材育成にも注力。熟練のハンドテクニックを確立しながらも、常に最新トレンドを探索し表現に活かす姿勢から、ウインドウディスプレイのカリスマ的存在として注目されている。

したのも天野さんが先駆けと話します。

「生花と違い、つくられた花をどう表現し、デザインするか」。アーティフィシャルフラワーの魅力と可能性を模索し、デザインを次々と発表し続ける一方、一般の方に向けた講習会も精力的に行っていました。

「花のデザインをするときに、私が心がけていることは、マイブックをつくることです。観察眼つて、すごく大事です。街を歩いたり、電車の中吊りを見たりして感動したこと、気づいたことなどを書き留めておくんです。そのためのノートを常にかばんに入れて持ち歩いています。クリエイトすることは、そこに書き留めた事柄から新しい着想を得て作り出す、ある意味では再生なんだと思うんです。だからこそ、マイブックが必要だし、自分だけのオリジナルを生み出す、源泉と言えます」



◀「花を纏う」イヤーフックフラワーとチョーカーフラワーとのコンビネーション



◀「木の実 & ドライ花ブック 〜ドイツ装花 トロッケンゲビンデ」森本礼子、天野よしこ(出版社マコー社)



もすべて手作り。デコレーターとしての眼差しは、自分の魅力を引き出す客観的な視点をも育んでくれているようです。

料理が好きでホームパーティーもひんばんに開催。その様子を話す原田さんの表情は、とても楽しそう。

「デコレーターを長く続けてこられたのは、好きだからでしょうね。好きなものがたくさんあって、いろいろやっているうちにこうなったのね。好きなことに挑戦すると楽しいし、長く続いていくように思います」

◀「ART BOX Vol.13 帽子デザインファイル世界の、日本の、帽子作家 60 人」(発行社 ART BOX international)



▶新美術館開催の帽子ショーに出展の作品。タイトル「宝玉のターバン」ピンワーク手法を取り入れて華やかに演出。



▲マイブックの一部。発見や気づきをメモし、創作のヒントになっている。

JDCAで何が学べるの？
授業はどんな雰囲気なの？

授業体験 セミナー



2017年7月5日〈水〉

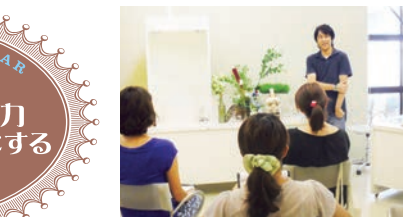
魅力的なディスプレイはどんな
発想からはじまったと思いますか？マスターレッスンでは、デザインの発想方
法から自らの感性を活かしたディスプレイのプランニング手法を学びディス
プレイを完成させます。魅力的なディスプレイにするためのアイデアと、発
想方法をカタチに変える仕組みととコツを体験していただけます。



講師：二宮 一司

ディスプレイディレクター／空間プランナー
JDCA 講師（照明・ディスプレイデザイン・プランニング担当）

ディスプレイデザインを軸に幅広い視野からあらゆる空間のプラン
ニングワークを担うディレクターとして活動。VMD計画・コンセプトワ
ークのディレクションや展示会等の設計・施工を手掛け幅広く活躍中。



本校に入校を検討されている方に向けた参加費無料の「授業体験セミナー」です。
授業の一部を切り取った内容なので、実際のレッスンの雰囲気や流れが体験いただけます。
またプロの職能を理解いただき、プロとなるために必要なスキルは JDCA でどんな感じで
学べるのか？是非目で見て感じてください。

◆時間 14:00 ~ 16:00 ◆定員 20 名 ◆場所 横浜ディスプレイミュージアム 2F カルチャールーム

参加
無料



2017年7月18日〈火〉

花やグリーンをデザインしたディスプレイ空間を創り上げるフラワーアレンジーとはどんな職能なの？フラワーディスプレイの役割は？を事例を交えながら解説します。またアレンジーのスキルを習得できるレッスンの一部をデモンストレーションを交えて体験していただけます。



講師：本間 みるみ

フラワーディスプレイデザイナー／フラワーアレンジー
JDCA 講師（プロップス制作フラワーレッスン担当）

国内外のフラワーデザインを通じて時代に沿ったフラワーデザイン
やディスプレイの提案とともに、アーティフィシャルフラワーの開発
も手掛けている。



これからクリエイターを目指す方へ、先輩からのメッセージ

From

Tomoko Harada

魅力的な先生との出会いや
対話が、自分を高めてくれます



1枚の布をピンで留めて、マネキンにまとわせていくピンワークを、みなさんに身近に感じていただきながら、完成させていく手法をお伝えしたいと思います。基本はもちろん大事ですが、そこからどうふくらませて、時代のニーズに合わせてながら自分のデザインを形づくっていくのか。感性を磨き続けるしかないと感じていますから、それは私自身の一生の課題でもあります。

感性を育むためにも、一人ひとりの好きという気持ちを大事にさせていただきたいですね。私自身、ピンワークでも帽子作りでもこの先生に習いたい、と先生を選んで学んできました。指導する立場になって、もっと自らを高めていかなければいけないと強く感じっていますが、人間的に魅力を感じる先生と出会って学ぶことで、感動はどんどん大きくなっていきます。素晴らしい先生と出会い、対話を重ねること、自分の感性を磨くことが楽しくなってくると思います。

From

Yoshiko Amano

しなやかに、アクティブに！
今という時を大切に



花の仕事を中心に携わって参りました。花1本のミニマムなデザインより、多種多様な花の形成、構成をお伝えしたいと思っています。フラワーデザインの多様性をディスプレイプロップス（演出商材）として表現するには花の基礎となるロジックは大変重要です。と、同時に感性を養い、磨くことも大切です。

だからこそ提案いたします。「マイブック」を作りましょう！プロフェッショナルとして職を求めるだけでなく、職が自分自身を導いてくれるように、意識して感性を育ててほしいと願っています。私自身、指導する立場にあって、毎回のレッスンが、自分自身の原点に立ち返り、受講される皆さまに新しいものを伝えていくことを使命と感じております。

マスターレッスン～インスタ VP テクニック～

マスターレッスン [インスタディスプレイ] の授業は、ブライダルフェアを想定した、リアルなレッスン！！

[プランニング] の授業後、[フラワー制作][設置ショーイング] と、二人の特別講師によってリレー形式で授業が進行。
テーマ別に、5つのブライダルディスプレイを完成させます。



▲ レッスンでは、テーマ別にグループで考えたプランにそくたアレンジメントを制作します。



▲ NY スタイルの「ラグジュアリーウェディング」をテーマに洗練された都会的な空間を演出。パープルのフラワーをメインにヘッドドレスとブーケでスタイリッシュなスタイルを表現しています。



▲ 横浜ディスプレイミュージアム1Fのステージを使って設置・ショーイング。ピンワークテクニックを活用して背景にドレープ・マネキンにオフショルダードレスを制作。ラグジュアリーな空間に仕上げました。

▶ プランニングから制作・設置ショーイングまで、4～5名のグループワークで、1台のステージを完成させます。



テクニカルレッスンの授業風景を見学できる「授業見学ツアー」

横浜ディスプレイミュージアム1Fステージを使った原田講師が担当する「ピンワークテクニック」、
天野講師が担当するテクニカルフラワー「商空間演出」の一部を見学いただけます。

2017年6月3日〈土〉

テクニカルレッスン

ピンワークテクニック

講師：原田 朋乎

ディスプレイ演出として必要なピンワークテクニックを使った背景実習。VPステージを使ってパターン別テクニックを習得するレッスンです。



▲ 原田講師によるピンワーク風景（※イメージなので、実際のレッスンとは異なります。）

2017年8月29日〈火〉

テクニカルフラワーレッスン

商空間演出

講師：天野 よしこ
商空間を想定したフラワー演出。同じ花材を使用して制作し、ユニット演出する事で大きな空間ディスプレイを表現するレッスンです。



▲ レッスンでは、横浜ディスプレイミュージアム1Fステージを使ってディスプレイします。

参加
無料

JDCAでは、1日完結型のディスプレイ講座を開催しています。ディスプレイに興味のある方でしたら、どなたでもご参加いただけます。初心者の方大歓迎!お気軽にご参加ください。

フラワートレンドが学べる 「ドライフラワーディスプレイ」講座



講師: 本間 るみ子
Rumiko Komma

フラワーディスプレイデザイナー/フラワーアレンジャー
JDCA 講師 (プロダクト制作フラワーレッスン担当)

国内外のフラワーデザインを通じて時代に沿ったフラワーデザインやディスプレイの提案とともに、アーティフィシャルフラワーの開発も手掛けている

今 流行しているのは、素朴な風合いと優しい色合いのドライフラワーディスプレイ。ファッション、インテリア、オーガニックコスメ、フードなど、業種を超えて店舗ディスプレイでは多用されています。今回の講座では、ドライフラワーディスプレイのトレンドと活用事例をもとに、すぐに活用できるディスプレイのご紹介と、ドライフラワーを取り入れた演出アイテムを制作します。ドライフラワーは素材の性質上、劣化しやすい、扱いが難しい、衛生面からフードディスプレイには不向きといった弱点があります。しかし、近年、質の向上が著しいドライフラワー風アーティフィシャルフラワーと組み合わせることで、ドライフラワーディスプレイの表現の幅が広がっています。講座では、新しい素材に触れながら、演出アイテムとしても役立つ、花束風「スワッグ」制作のワークショップもご用意。手を動かしながら、最新の表現方法や制作手法を習得していただけます。



ワークショップ制作作品
(H48cm x D22cm)

日 時: 2017年7月18日<火>
10:30~13:00

定 員: 24名
受講料: ¥4,800 (材料費込み)
場 所: 横浜ディスプレイミュージアム
2F カルチャールーム

【レッスン概要】

- ◆ドライフラワーディスプレイ事例紹介
- ◆ドライフラワーとアーティフィシャルフラワーの種類と扱い手法
- ◆ディスプレイの紹介と解説
- ◆ワークショップ (花束風スワッグ制作)



～心地よい影をデザインする～ 照明デザインのアイディアと発想方法



直営店 lux di classe (ルクス ディクラッセ) ギャラリースペース。Mini-foresti (ミニフォレストイ) ペンダントランプのインスタレーション。



講師: 遠藤 道明
Domei Endo

株式会社ディクラッセ 代表取締役デザイナー

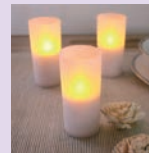
多摩美術大学プロダクトデザイン科卒。心地よい空間をつくる「影をデザイン」というコンセプトで照明器具を作り出す。代表作「Mini-foresti」は壁に映しだされる葉の影が、森の中に樹木のそばにいるようなやすらぎを生むペンダントランプ。同時に健康のための明かり、光と健康の関連性を探索し照明デザインに取り入れている。東京を拠点にパリ、ロンドンなどでもオリジナル照明器具を発表し、現在12か国で販売されている。

日 時: 2017年6月30日<金>
14:00~16:00

定 員: 30名 受講料: ¥3,500
場 所: 横浜ディスプレイミュージアム
2F カルチャールーム

セミナー特典

クオーレ LED キャンドル
プレゼント



息を吹きかけて消せる
LED キャンドルライト。
癒しの灯として愛され続けるキャンドルの炎。その揺らぎや温かなオレンジ色と、吹き消すことまでを再現したディクラッセ社オリジナルLEDキャンドルをおひとつプレゼントいたします。



パリの国際インテリア見本市「メゾン・エ・オブジェ」会場内「マリックレール・カフェ」に採用された照明。

自社ブランドの照明器具を主としたデザインを数々手掛けてきた中で、コンセプトである心地よい空間を生む「影をデザイン」する事に着目し、アイディアをデザインに落とし込み製品化するまでのプロセス・海外(パリ・ロンドン等)市場との繋がり等、作品をご紹介しながら紐解きます。また、焚火や夕暮れ時のような古来から安らぎを感じるオレンジ色の明かりを用いて、店舗や住居で居心地のよい空間を作るための照明アイディアをデモンストレーションを交えてご紹介します。



オレンジ色のLED光を使った空間演出。

JDCA 主催の講座のお申込みは下記をご確認ください

〈お申込み方法〉 いずれかで申込みください。

・電話: 045-441-5274 (10:00~17:30) ・FAX: 045-441-0644
・Web: <http://www.jdca.jp> ・横浜ディスプレイミュージアム2階受付

〈受講料お支払いについて〉

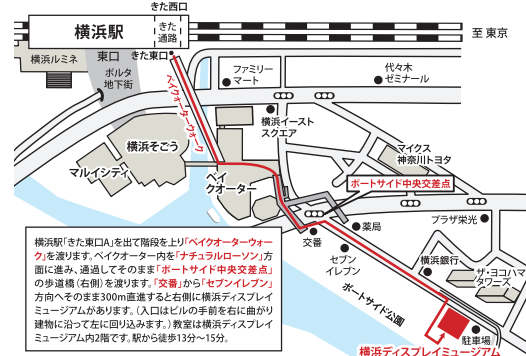
●お振込の場合
受講料を下記の指定口座にお振込みください。ご入金確認をもってお申込みが完了となります。

【お振込先】 横浜銀行 中央市場支店 (普) 1163772 口座名義: 株式会社ポビー

●クレジットの場合
事務局 (info@jdca.jp) 宛に氏名、連絡先を明記の上メールを送信してください。



お支払い可能クレジットカード



「学校説明会」開催中!
スクールに関しての悩みや疑問～なんでもご相談ください!
JDCA事務局の山口です。カリキュラムのポイントからスクールライフ・実習場所のご案内等を個別でご説明いたします。お電話で都合の良い日時をご予約ください。気になる疑問や相談など、お気軽にお問い合わせください。



表紙のスタイリング

Summer green styling

ビンテージ感やインダストリアルな空間にボタニカル(植物)を中心にするインテリアがブームの中、2017年は、上品さや温かみをプラスするスタイリングに発展。今回は、コッパーカラー(銅色)と自然素材のドライフラワーをコーディネートして、温かみと素朴さを加えた、夏のグリーンスタイルをご提案。

〈写真〉アーティフィシャルグリーン・ドライフラワー・コッパーカラーのベース・キャンドルスタンド・ガラス瓶など: 横浜ディスプレイミュージアム

スタイリング: 前田博美 (JDCA 講師) 写真: 近藤晶子 デザイン: 池田仁美 (H+D)

FAX・横浜ディスプレイミュージアム店頭用申込み書				
お名前		会員番号	※会員の方のみ	職業
TEL			FAX	
E-mail	※講座情報のメール配信をご希望の方はご記入ください。			
お申込み講座の希望日に☑チェックしてください。				
ディスプレイ講座	照明デザインのアイデアと発想方法	【受講料3,500円】	☐	6/30 (金) 14:00～16:00
	ドライフラワーディスプレイ講座	【受講料4,800円】	☐	7/18 (火) 10:30～13:00
授業体験	アイデアをカタチにするテクニック	【無料】	☐	7/ 5 (水) 14:00～16:00
	フラワーアレンジャーのお仕事	【無料】	☐	7/18 (火) 14:00～16:00
授業見学	ピンワークテクニック	【無料】	☐	6/ 3 (土) 14:45～15:45
	ステージ演出 (フラワー＆グリーン)	【無料】	☐	6/13 (火) 14:45～15:45
	ファッションVPテクニック	【無料】	☐	7/11 (火) 14:45～15:45
	インテリアVPテクニック	【無料】	☐	7/29 (土) 14:45～15:45
	商空間演出	【無料】	☐	8/29 (火) 14:45～15:45
協会主催	【協会主催セミナー】 今話題のインフィオラータ 街をキャンパスにアートするシカケ			
	JDCA協会員価格	【セミナー＆懇親会 5,000円】	☐	7/15 (土) 15:00～20:00
	一般価格	【セミナーのみ 5,000円】	☐	7/15 (土) 15:00～17:30

キャンセルについて ※必ずご確認ください

- (1) 開催日10日前まで⇒受講料全額返金 (2) 開催日9日前~3日前まで⇒受講料の半額を返金
- (3) 開催日2日前~開催日当日⇒返金できません。※返金の際の振込み手数料は、お客様のご負担となります。

注意事項

- (1) お申込み講座が定員に達している場合はキャンセル待ちとしてご案内させていただきます。(2) 講座開始10分前には会場にお越しください。(3) 講座参加の際、長時間となりますので、会員様専用駐車場のご利用はご遠慮ください。